

脊椎外科

1. 概要

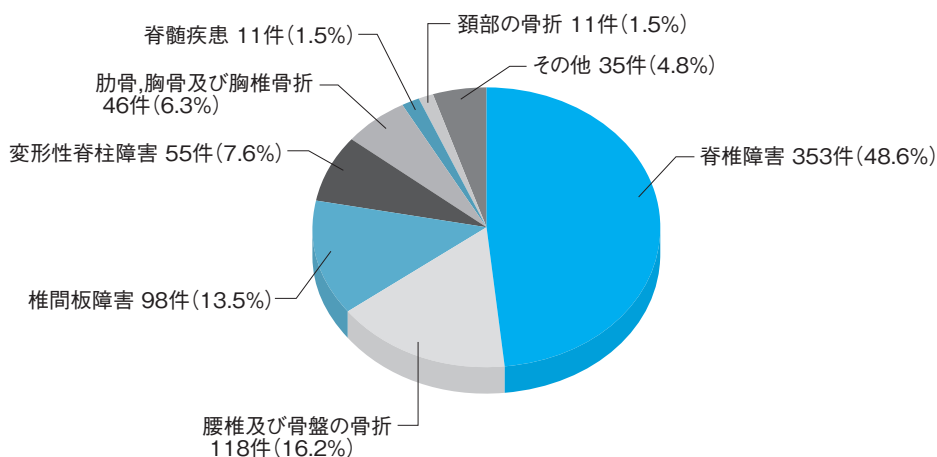
脊椎外科は2005年4月1日より院内標榜科として新設された。現在、脊椎外科医は吉原永武（部長）、宮入祐一の2人であり、整形外科スタッフの協力を得ながら診療を行っている。年間200件程の手術治療を行っているが、頸髄症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアが脊椎外科における3大疾患であり、手術例のほとんどを占める。稀な疾患においては、名古屋大学整形外科脊椎グループと連携をとりながら、できるだけ当院内で高いレベルでの治療が行えるよう対処している。また、2014年から手術室にO-arm CTとナビゲーション機器を導入し、より安全性を向上させた手術が可能となっている。

脊椎疾患の治療には、保存的治療と手術的治療を病態に応じて選択し、的確に実施していくことが重要である。保存的治療もさることながら、とりわけ手術的治療が必要な方に対する十分な治療の提供が当院の使命と考えている。当院での治療成績より得られた貴重な医学的知見について、脊椎外科の発展に寄与すべく国内外の学会及び医学雑誌上での発表も行っている。

（部長 吉原 永武）

2. 新規登録疾患

総数：727件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
脊椎障害	脊柱管狭窄(症)(腰部)	128	M4806
	その他の脊椎症(頸部)	98	M4782
腰椎及び骨盤の骨折	腰椎骨折	67	S3200
	腰椎及び骨盤のその他及び部位不明の骨折	25	S3280
椎間板障害	その他の明示された椎間板ヘルニア	87	M512
変形性脊柱障害	脊椎すべり症	29	M4316
	脊椎分離症	4	M4306
肋骨、胸骨及び胸椎骨折	胸椎骨折	29	S2200
	肋骨骨折	17	S2230
脊髄疾患	脊髄疾患, 詳細不明	11	G959
頸部の骨折	頸部の骨折, 部位不明	8	S1290

3. 活動報告

(1) 主な対象疾患

腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 頸椎症性頸髄症 腰椎すべり症・分離症 頸椎椎間板ヘルニア 後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症・黄色靭帯石灰化症 リウマチ脊椎 透析脊椎 脊髄腫瘍・脊椎腫瘍 脊椎感染症 脊椎外傷 その他

(2) 手術実績

術式	件数(件)
頸椎椎弓形成術	33
頸椎椎間孔拡大術	3
頸椎前方除圧固定	7
頸椎後方固定術	16
胸椎除圧固定	3
胸椎椎弓切除	4
椎間板ヘルニア摘出	21
椎弓切除(腰椎除圧術)	50
脊椎固定術	27
胸腰椎前方固定	3
胸腰椎後方固定	7
胸腰椎前方後方同時固定	3
脊椎脊髄腫瘍	8
その他	12
計	197

学会発表（医局）

<脊椎外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	Lymphoduct injury during LIF:Case report	筆頭演者	Hisatake Yoshihara	第1回SOLAS Japan 学術集会	東京都	2017/12/2	

座長・司会（医局）

<脊椎外科>

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	座長	腰痛と神経障害性疼痛の最近の知見～慢性疼痛を中心に～	吉原 永武	東三学術講演会	豊橋市	2017/7/19	

講演（医局）

<脊椎外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	腰椎疾患の診かた・考え方	吉原 永武	疼痛診察セミナー in東三河	蒲郡市	2017/11/16	